

平成27年度第4回常滑市教育委員会定例会会議録（概要）

開催日	平成27年7月16日(木)	
開催場所	常滑市役所4階第3会議室	
時間	開会 午後3時05分	閉会 午後4時07分
出席委員	委員長 渡邊 十三香 委員 久田 孝寛 教育長 加藤 宣和	委員 渡辺 慶太郎 委員 鬼頭 明美
出席した職員	教育部長 榊原 直樹 学校教育課付課長 榊原 寛二 学校給食共同調理場長 杉江 勝	学校教育課長 山崎 巖生 生涯学習スポーツ課長 竹内 龍夫
傍聴者	なし	
事務局	学校教育課課長補佐 伊藤真由美	
議案	(1) 平成28年度使用小・中学校教科用図書の採択について ※別紙 (P8参照)	
その他(諸報告)	・行事連絡(7月～9月)	

発言者	発言の要旨
委員長	平成27年度第4回教育委員会定例会を開催する。 平成27年度第3回教育委員会定例会会議録を各委員に諮り承認された。 会議録署名委員に久田孝寛委員を指名した。
教育長	委員の皆様、こんにちは。本日の定例会の付議事件は「平成28年度使用小・中学校教科用図書の採択について」の議案1つを予定しております。よろしくお願ひします。なお、本日の報告事項を含め教科用図書の採択に関する部分については、8月31日までは全て非公開とさせていただきます。よろしくお願ひします。それでは、委員長・教育長の報告事項につきまして、前回の定例会6月25日以降の主なもののみ、その概略を報告させていただきます。委員長、教育長の報告事項をご覧ください。 6月26日には西浦南小学校、6月30日には、大野小学校、7月2日には小鈴谷小学校の学校訪問を行いました。記載をさせていただきました教育委員にもそれぞれご出席をいただき、一学期に予定をしておりました学校訪問をすべて終えることができました。一学期の学校訪問を終えて、どの学校も現職教育のテーマを受け、よく準備し、指導方法も工夫されたすぐれた実践が多く見られました。

発言者	発言の要旨
<p>委員長</p> <p>学校教育課付課長</p> <p>委員長</p>	<p>指導案や当日の授業を見ておりましたが、学校訪問を現職教育の検証の場として捉えよく検討がされ、全校体制で研究に取り組んでいる様子がよくわかりました。また、特設授業者を見ておりましたが、少経験者、中堅、ベテランといろいろな方が取り組んでおり、各学校の意気込みを感じました。二学期の教育委員の訪問校につきましては、次回の定例会で決定させていただきます。</p> <p>7月3日に、常滑市で、尾張都市教育長会議が開かれました。議題が3つありました。一つ目は「学校の統廃合について」です。これにつきましては、基本計画をすでに策定している市が23市の中で2市、策定予定または策定が4市となっております。二つ目の議題は「愛知県市町村対抗駅伝競走大会について」でした。現状通りが、23市の中で16市、再考が3市という結果でした。三つ目は「災害用等非常食の配備状況について」でした。これにつきましては、23市の中で11市が配備しておりました。常滑市の非常食を紹介し、愛知県の給食会の協力をいただき、カレーとご飯とお水をお土産として持ち帰っていただきました。</p> <p>7月7日には、東海市教員研修センターにて、教科用図書の採択をテーマに知多地方教育委員研修会が開催されました。渡辺慶太郎委員、鬼頭明美委員にご出席をいただきました。</p> <p>7月10日には、愛知県市町村教育委員連絡会第49回定期総会及び研修会が蒲郡市民会館で開催されました。渡邊十三香委員長と久田孝寛委員にご出席をいただきました。この場で、前権田泰一委員が表彰されました。</p> <p>以上でご報告とさせていただきます。</p> <p>議案第1号 平成28年度使用小・中学校教科用図書の採択について説明をお願いします。</p> <p>「平成28年度使用小学校用図書の採択について」資料に基づき説明。</p> <p>平成28年度使用小学校教科用図書の採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条」に定めるところにより、平成27年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。知多教科用図書採択地区協議会においても、本年度と同一の教科書を承認するよう求めています。</p> <p>常滑市教育委員会におきましても、平成27年度と同一の教科書を採択することを、承認していただきたいと思います。</p> <p>今の説明について、ご意見はありませんか。</p>

発言者	発言の要旨
委員長	<p>それでは、採決に入ります。</p>
	<p>平成28年度使用小学校教科用図書は、知多教科用図書採択地区協議会で答申されたとおりでよろしいでしょうか。</p>
委員全員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>異議なしと認め、本案を承認することとします。</p>
委員長	<p>次に「平成28年度使用中学校教科用図書の採択について」の審議を行います。事務局から説明をお願いします。</p>
学校教育課付課長	<p>「平成28年度使用中学校用図書の採択について」資料に基づき説明。</p>
	<p>各委員におかれましても、配布させていただきました教科書を自宅でご覧になったり教科書展示会でご覧になったりと、採択対象の教科用図書を見ていただきました。「知多採択地区での共同採択」という趣旨を尊重のうえ、ご審議・ご承認いただきますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは審議に入ります。どなたかご意見はありませんか。</p>
委員1	<p>社会科の教科書では、今日的課題や将来の生活につながる話題を取り上げ、興味・関心を高めるよう工夫されていました。また、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の相互の関連付けもなされていました。</p>
委員2	<p>理科の教科書では、単元の導入で、理科と日常生活との関連をとらえられるように配慮されていました。生徒の興味や関心を引き出す工夫がなされていました。また、図や写真を多く掲載することで、実験方法や学習内容が理解しやすくするような工夫がみられました。</p>
	<p>美術の教科書では、生活の中にある美術に関する作品を多く紹介してあり、生徒の制作意欲を高める工夫がされていました。また、用具の使い方についても、写真を用いて特に安全面に配慮した内容となっていました。</p>
委員2	<p>技術の教科書では、安全面や衛生面に気を配っており、マークで生徒に注意を促すなど、安全な作業や実習への配慮がされていました。技術科の特色として、理科の生物や社会科のごみの問題、美術の技術的な面との関連があり、そのような面も学習できるようになっていました。</p>
委員3	<p>英語の教科書では、小学校と中学校との連携を意識し、既に学習した内容と新たな学習内容との関連付けがよく考えられていました。また、題材として道案内・人物紹介・買い物など日常のシーンでの使用場面に即した内容が取り上げられていたり、写真やイラスト</p>

発言者	発言の要旨
教育長	<p>ト、登場人物を上手く組み合わせ掲載してあったりと、生徒の意欲を高める工夫がされていると思いました。</p> <p>家庭科の教科書では、生活基盤を作っていくための役立つ内容が豊富に掲載されていることと、また自分の周りの人々に興味を持ち、共生していく力を養う教材が多く取り上げられていたので、生徒が興味をもって学習できると思いました。</p> <p>書写の教科書を見比べてみますと、どの出版社もカラーユニバーサルデザイン等で、判別しやすい配色やレイアウトが工夫されており、造りも3年間の使用に耐えうるようなビニールコーティングがされていて、丈夫になっております。そうした面では甲乙付け難いわけですが、教育出版株式会社のものは、作品例や生活に書を生かしている場面、古典の文、掛け軸や屏風など伝統文化に親しめる資料を豊富な写真で紹介しており、子どもたちが学習や生活に書を活用できる力を養うように工夫されていると思いました。</p> <p>光村図書の国語の教科書は目標があり、子どもたちが自分自身でここでは「どんな力を身につけるのか」がきちんとわかるように工夫がされていて、「どのような学習をするのか」見通しを持たせ、学んだことを次につなげるために、学習を振り返ったり、生活に生かすにはどうしたらいいのか考えさせたりするように教材化が工夫されております。こうした工夫が子どもの学習意欲につながるように思いました。</p> <p>保健体育の教科書は、どの出版会社もおおむね見開き2ページで1単位時間の内容となっており、使いやすいページ構成となっております。その中でも、大日本図書株式会社は、子どもたちが主体的に学習が進められるよう「今日の学習課題」を示し、統計資料や写真等を使って知識を定着するようになっておりました。また、最後には「学習を活かして」のコーナーを設けて生活に生かしていけるようになっており、さらには、「キーワード」をまとめ、学習を振り返りやすくするよう工夫されていると思います。また、統計資料の数値ができるだけ最近のものを使用しているということがこの会社の特徴でした。</p>
委員長	<p>数学の教科書では、自分の子供の時代と比べてどれくらい変わったか見てみました。まず厚さがすごく厚くなっている。書き込み易いようにグラフや作図の問題を実際に教科書に書き込むことができるよう多くの余白が取ってありました。全体的に感じたことは、緑色と青色をベースにしてあり、色彩心理学では集中力アップ、気持ちを高めたりなど、意図的にその色を使っているのかわかりません</p>

発言者	発言の要旨
	<p>が、良い効果があるそうです。</p> <p>数学は自分が好きな教科だったので、練習問題から基本問題、発展問題、応用問題まで実際に問題を解いてみて、その順番が的確で、次にステップアップ、レベルアップしていく状態で意欲的に取り組めるような段階を経ていると思いました。啓林館に限っては「千思万考」という項目があり、かなりハイレベルな発展問題が掲載されていました。これは数学の好きな子供たちにとっては解きたい、チャレンジしたいという気になるので、今までのゆとり教育とは違う、どちらかと言うと底上げし万遍なく8割方の子供たちができることを意識した構成から、今回は数学の得意な子供たちが意欲的に問題を解こうとさせてくれる内容になっていると感じました。あとマスマナビックという別冊があるのですが、「数学を活用している人たち」という項目があって、数学を活用しながら仕事をしている人やどんな仕事があるかというような紹介が各学年に載っていました。数学が好き、将来どういう職業に就きたいか、だけどそういう関わった職業にどういうものがあるのかは、行く行く数学の好きな子供たちにはとても参考になり、工夫してある教科書だと見ていました。この教科書をフルに活用し、子供たちの能力がより向上してくれることを期待したいと思い見ていました。</p> <p>次に音楽ですが、採択で2つの出版社が出していますが、圧倒的に教育出版の方は何がすごいかと言うと、写真のようなカラーコピーで、イラストなども写真化していました。1枚1枚めくるのにわくわくドキドキし、とても色彩がきれいなので、美術の教科書ではないかと思ふほどでした。あと日本の文化、世界の文化そして音楽と伝統文化との関わり、例えばバレエだったり、歌舞伎だったり、音楽とどのように関わっているかを解り易く、題名みたくにして、例えば鑑賞の所では、見出しに「音楽と他の芸術との関わりを理解して鑑賞しよう」と書いてありました。曲を鑑賞するだけでなく、この曲はバレエやミュージカルのどの場面で使われているのかということ想像しながら、その文化や芸術に関連していることを、子供たちに具体的にアドバイスしながら学びましょうと、導いてくれるところがとても良いと思いました。また自分の時の音楽と比べてみてびっくりしたのが、「音楽のスケッチ」です。そこでは「CMソングをつくろう」「音楽を自由に構成しよう」として自ら子どもたちが作曲するような単元がありました。作曲するにもしっかり工夫がされていて、「学校の一日を時間の経過とともに、短い文で表してみよう」など、曲をイメージするまでの手順まで書かれていました。</p>

発言者	発言の要旨
委員 3	<p>自分もCMソングを作ってみたいと思うようなもので、自分が子供の頃に比べると丁寧で子供たちに沿った教科書内容になっていて、進化していると感じました。</p> <p>ユニバーサルデザインについて自分で調べてみました。色彩とかレイアウト、字体が少し違うだけで理解できないとか見えないという方たちにも、全ての方に優しく理解できるようなデザイン、字体、レイアウトにしましょうというもので、今までのバリアフリーとは違うということがわかりました。今回見せていただいた教科書もみなさんが使い易いものということで、教育長がおっしゃったようにカラーユニバーサルデザインの観点から配色や字体にも配慮がされていました。また、書き込みやすい紙質であったり、良質で軽い紙を使用してあったりと、使い方に応じて製本にもよく配慮されていました。生徒にとって学習しやすい教科書だと思いました。</p>
委員 2	<p>どの教科も生徒自ら課題を見つけて、自ら学んで、自ら問題を解決していくという流れ学習展開を考えて教科書が作られていると思います。子供たちが意欲を持って学習に取り組める。生活と密着したような題材、生活の問題をその教科で学習していこうということがなされていたと思います。問題解決能力は生徒に身に付けさせたい力の一つであります。数学の教科書にもあったように発展的な内容にも多く触れられております。生徒の興味関心に応じて、深く学びたいという生徒にも合わせた内容となっていて、とてもよいと思いました。</p>
委員 1	<p>それぞれの教育委員が県の資料と採択地区協議会の研究報告書を参考にじっくりと教科書を見ることができました。採択地区協議会が知多全域から各教科の専門教員に調査・研究させ、知多地方の子どもたちの実情にあったものが答申されているのですから、通知されたものを尊重するという考え方でよいと思います。</p>
教育長	<p>啓林館の教科書には紙コプターが掲載されており、これを切り取って、羽の長さが違う二つの紙コプターを組み立てて落下させます。そしてどちらの紙コプターの滞空時間が長い実験し記録を取っていきます。初めから決めてあるわけではなく、子供たちが実験の中でどちらの紙コプターが長く飛行できるのかに気付く訳です。実験のなかで子供が気付くような仕掛けが教科書にしています。先ほど他の委員が数学の教科書についておっしゃって見えたように、学習課題を与えられるのではなく、自ら学習課題を見つけ、どうなるのか子供たちが気付くような仕掛けがしてあります。また先ほどの音楽の教科書で言いますと、音楽の教科書は二社あるのですが、教育出版の教科書の特徴は、もう一冊の教科書と違い、楽譜と写真が</p>

発言者	発言の要旨
委員長	<p>組み合わせてあり、子供たちが音楽を聞いた時にイメージがし易いような工夫がされています。</p> <p>ただいまご意見をいただきましたが、採択協議会の答申は、経験豊富な先生方がじっくりと検討され、知多地方の子どもたちにとってよいと考えられるものが採択されています。私も、答申通り採択したいと思います。</p>
委員長 委員全員 委員長	<p>ほかにご意見はありませんか。</p> <p>意見なし。</p> <p>それでは採決に入ります。</p>
委員全員 委員長	<p>平成28年度使用中学校教科用図書は、知多教科用図書採択地区協議会の答申どおり承認してよろしいでしょうか。</p> <p>異議なし。</p> <p>異議なしと認め、本案を承認することとします。</p>
学校教育課長	<p>その他の行事連絡（7月～9月）の報告をお願いします。</p> <p>資料に基づき報告。</p>
委員長	<p>他になければ、これをもって平成27年度第4回教育委員会定例会を閉会します。</p>

別紙

平成28年度使用小・中学校教科用図書の採択について

1 小学校

種目名	発行者名	種目名	発行者名
国語	光村図書	生活	東京書籍
書写	教育出版	音楽	教育出版
社会	日本文教出版	図画工作	日本文教出版
地 図	帝国書院	家庭	東京書籍
算 数	啓林館	保健	大日本図書
理 科	教育出版		

2 中学校

種目名	発行者名	種目名	発行者名
国語	光村図書	音楽	一般 教育出版
書写	教育出版		器楽 教育出版
社会	地理	美術 日本文教出版	
	歴史	保健体育 大日本図書	
	公民	技・家	技術 東京書籍
地 図	家庭 家庭		
数 学	啓林館	外国語(英語) 東京書籍	
理 科	教育出版		